

中学校

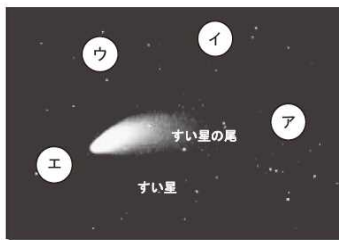
平成31年1月に実施した鹿児島学習定着度調査の結果では、中1国語科の平均通過率は61.9%であり、このうち「基礎・基本」の問題については63.2%、「思考・表現」の問題については58.5%という結果でした。中2国語科の平均通過率は67.6%であり、このうち「基礎・基本」の問題については71.0%、「思考・表現」の問題については58.4%という結果でした。中学校国語科においては、特に「基礎・基本」について十分に定着しているとは言い難い状況でした。

「基礎・基本」においては、小学校で学習した漢字を書くことや口語文法、行書の特徴など基礎的な知識・技能の定着が不十分でした。また、「思考・表現」について、特に中1では、問題文中の資料や文学作品を読んだ後に作成したレポートを題材として出題した結果、無解答の割合が3割近くになりました。話の内容の大体をつかむことや複数の資料の中に共通する話題を比較することなど、情報の扱い方を意識した学習活動を工夫しましょう。

特徴ある問題から

① 四「情報と情報との関係」 「構造と内容の把握」

本文に書かれている内容を正しく理解し、その情報をイメージして表現したり、要約して表現したりしてみましょう。



【図】 すい星とその尾

四 次の文章を読んで、あとの各問いに答えよ。

左の図のように、すい星の尾は太陽と反対の向きにのびます。すい星の尾は軽いガスやちりでできていて、太陽の力で吹き飛ばされるからです。

すい星は太陽からはなれていると見えますが、太陽に近づくと、明るくなって尾を引くようになります。

- 1 文章の内容をふまえると、太陽の位置はどこになるか。最も適切な位置を上の図のAからEの中から一つ選び、その記号を書け。
 - 2 文章の内容から分かることとして最も適切なものをAからEの中から一つ選び、その記号を書け。
- ア すい星の尾は、ガスやちりが自ら光ってできていて、太陽の力でのびていく。
- イ すい星の尾は、太陽によって燃えたガスやちりを明るく照らしてのびていく。
- ウ すい星の尾は、太陽の近くで吹き飛ばされるため、太陽の向きにのびていく。
- エ すい星の尾は、太陽の力で吹き飛ばされて、太陽と反対の向きにのびていく。

新学習指導要領解説（国語編）から

今回新設された「情報の扱い方に関する事項」では、話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりすることで、話や文章の正確な理解につながることを示されています。また、そのために叙述を基に、文章の構成や展開に気付くことが大切であることも示されていることを踏まえ、イメージとしての理解と言葉としての理解を問う問題を中1、中2の共通問題として出題しました。

授業改善のポイント

	小問1	小問2	調査の結果、文章を読んで内容を理解すること、内容を思い描くことでは、中1で25.3%、中2で15.9%の開きがありました。両学年とも言語で理解したことを図としてイメージすることができていない状況が見られました。
中1	57.7%	82.8%	
中2	65.1%	81.0%	

書かれている事柄や内容を正確に読み取れるよう、以下の事項に注意して指導しましょう。

- ・ 学習の中で使用する語句や、語句の表す意味を正確に理解できるよう、辞書を活用するなどして豊かな語彙を育成しましょう。
- ・ 文節相互の関係や係り受けの関係などに気を付けて読むなどして、文の構造を把握しながら読めるようにしましょう。
- ・ 対象同士の間関係を捉えられるよう、書かれている事柄や内容を図に表したり、具体物を操作させたりして、内容をつかませましょう。
- ・ サイドラインを引かせるなど、大事な言葉に着目して読めるようにしましょう。
- ・ 他教科の学習においても、「問題が読めているだろう」ではなく、問題場面の確認を行うことが必要であることを踏まえて指導しましょう。